

## 令和元年度 学校生活相談センターの相談状況について(10月末現在)

心の支援課

## ◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 H30年度(～10月末)		本年度 R1年度(～10月末)	
相談件数	492件	→	547件	(55件増)
延べ回数	813回	→	991回	(178回増)

## 1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	204	37.3%	308	31.1%
	夜間・休日	266	48.6%	534	53.9%
文書 (メール・FAX・手紙)	73	13.4%	141	14.2%	
来所	4	0.7%	8	0.8%	
計	547	100.0%	991	100.0%	

・前年度同期と比較すると、相談件数が11.2%増、延べ回数が21.9%増となり、引き続き増加傾向にある。

・特に、夜間・休日受付の相談件数が増えている。特に、夜間・休日の延べ回数は前年度同期で375回だったが、本年度は534回と42.4%増となっている。

## 2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	39	7.1%	53	5.3%
傾聴を主とした案件	508	92.9%	938	94.7%
計	547	100.0%	991	100.0%

## 主な連携先

小中学校	…	15件	私学振興課	…	0件
県立高校	…	12件	こども・家庭課	…	0件
県教育委員会他課	…	7件	児童相談所	…	0件
教育事務所	…	3件	子ども支援センター	…	0件
市町村教育委員会	…	3件			

## 3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	77	14.1%	111	11.2%
5月	89	16.3%	144	14.5%
6月	74	13.5%	148	15.0%
7月	70	12.8%	141	14.2%
8月	61	11.1%	130	13.1%
9月	84	15.4%	142	14.3%
10月	92	16.8%	175	17.7%
11月	0	0.0%	0	0.0%
12月	0	0.0%	0	0.0%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	547	100.0%	991	100.0%

#### 4 相談者の状況

##### (1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	67	12.2%	81	8.2%
	不登校・登校渋り	61	11.3%	104	10.5%
	その他	127	23.2%	220	22.2%
学校・教師に関すること	157	28.7%	266	26.8%	
家庭・私生活に関すること	50	9.1%	115	11.6%	
意見・問い合わせ	62	11.3%	78	7.9%	
その他	23	4.2%	127	12.8%	
<b>計</b>	<b>547</b>	<b>100.0%</b>	<b>991</b>	<b>100.0%</b>	

##### (2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関すること	いじめ・嫌がらせ	20	10.7%	24	5.8%
	不登校・登校渋り	10	5.4%	15	3.6%
	その他	75	40.3%	138	33.3%
学校・教師に関すること	36	19.4%	91	22.0%	
家庭・私生活に関すること	16	8.6%	19	4.6%	
意見・問い合わせ	13	7.0%	19	4.6%	
その他	16	8.6%	108	26.1%	
<b>計</b>	<b>186</b>	<b>100.0%</b>	<b>414</b>	<b>100.0%</b>	

##### (3) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
<b>子ども</b>	<b>186</b>	<b>34.0%</b>	<b>414</b>	<b>41.8%</b>
本人	184	33.6%	412	41.6%
本人以外の子ども	2	0.4%	2	0.2%
<b>大人</b>	<b>348</b>	<b>63.6%</b>	<b>562</b>	<b>56.7%</b>
父	43	7.9%	58	5.9%
母	252	46.1%	423	42.7%
祖父	3	0.5%	4	0.4%
祖母	11	2.0%	18	1.8%
その他の大人	39	7.1%	59	5.9%
不明	13	2.4%	15	1.5%
<b>計</b>	<b>547</b>	<b>100.0%</b>	<b>991</b>	<b>100.0%</b>

・相談者の内訳を見ると、大人からの相談が6割を超え、前年度同期と比べると52件増となっている。ただし、延べ回数を見ると子どもからの相談の割合が増え、子どもからの相談の方が継続となる場合が多いことが窺える。

#### 5 相談対象者の状況

##### (1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	231	42.2%	460	46.4%
女	246	45.0%	426	43.0%
不明	70	12.8%	105	10.6%
<b>計</b>	<b>547</b>	<b>100.0%</b>	<b>991</b>	<b>100.0%</b>

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	4	0.7%	4	0.4%
小学生(低学年)	57	10.4%	69	7.0%
小学生(高学年)	67	12.3%	93	9.4%
中学生	140	25.6%	231	23.3%
高校生	222	40.6%	417	42.1%
その他	23	4.2%	65	6.5%
不明	34	6.2%	112	11.3%
計	547	100.0%	991	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	122	22.3%	297	30.0%
東信	52	9.5%	124	12.5%
中信	56	10.3%	97	9.8%
南信	52	9.5%	139	14.0%
その他	4	0.7%	4	0.4%
不明	261	47.7%	330	33.3%
計	547	100.0%	991	100.0%

・相談対象者は、女子の割合が若干高いが、前年度同期と比べ、男子の相談件数も+12件と増加傾向にある。

・相談者の学校区分では、前年度同期と比べて高校生の割合が若干増加傾向にある。

10月まとめ

・4月から延べ回数が3桁となる月が続いており、10月の延べ回数175回は、学校生活センターが設置されて以来の最高記録となっている。そして、延べ回数は、前年度の11月末を超え12月末に迫る勢いである。

・9月は、不登校・登校渋り、いじめ・嫌がらせを主訴とする相談が目立ったが、10月は学校・教師の対応や、暴言・不適切な指導を主訴とする新規の相談が目立った。前年度同期も学校・教師の対応についての相談が多く、時期的に「年度の折り返しの今、相談しておきたい」という相談者の意図が感じられる。